

西側土塀の復元

○復元設計の方針

- ・山里口御門の枡形石垣上の土塀の設計図を基に、西側土塀の実設計を行う。

(参考) 山里口御門の枡形石垣上の土塀について

- ・山里口御門枡形石垣上の土塀は、古写真や石垣に残るほぞ穴の痕跡などをもとに復元設計を実施し、平成30年に復元
- ・高さ: 約2.5m、柱間: 5尺、土塀内部は砂利詰め

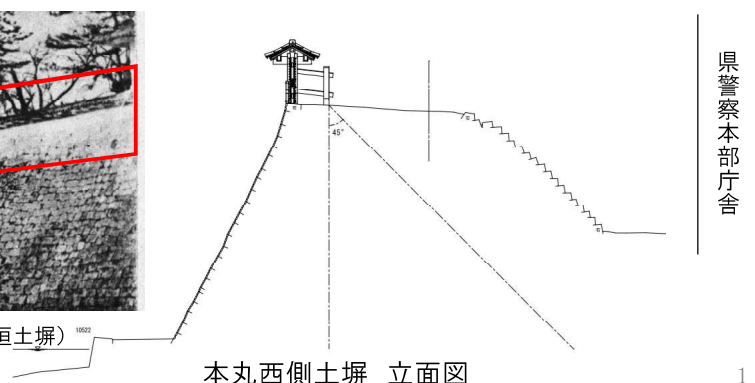


石垣に残る土塀柱ほぞ穴

- ・屋根の石瓦と堀側の腰板は、笏谷石の材料調達状況などを踏まえて、検討する。(瓦は笏谷石の調達が可能。腰板は大きさの関係で調達が困難)
- ・土塀内部の砂利詰めは、高石垣への影響を考慮し、省略する。
- ・土塀施工の支障となる石垣上の樹木は、伐採や枝打ちを行う。



明治初期の古写真(赤枠内: 西側土塀、黄枠内: 枡形石垣土塀)



本丸西側土塀 立面図

1

(参考) 山里口御門枡形石垣上の復元土塀

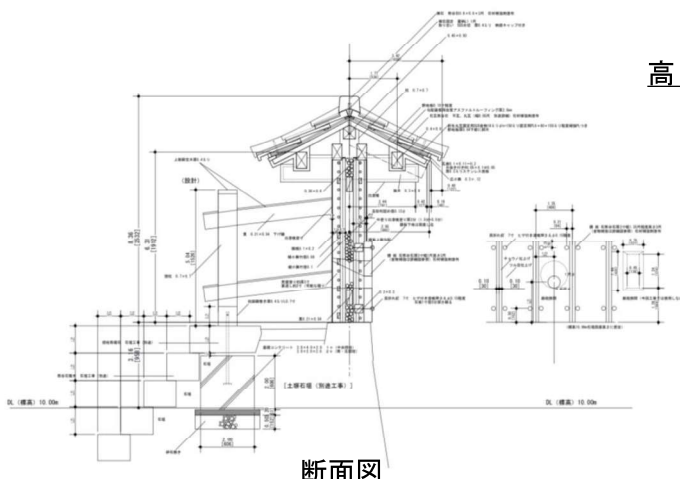


復元 (内側)

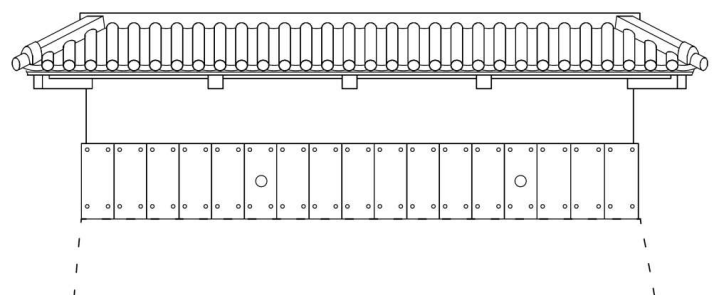


復元 (堀側)

高さ: 約2.5m、柱間: 5尺(約1.5m)、土塀内部は砂利詰め



断面図



立面図

2

(参考) 石垣上部の支障木

幹が支障となる木 ※伐採

(ソメイヨシノ)	3本(土塀2本、櫓1本)
(マツ)	3本(櫓3本)
(エノキ)	1本(土塀1本)

枝が支障となる木 ※枝打ちで対応できない場合は、伐採

(ソメイヨシノ)	10本(土塀9本、櫓1本)
(マツ)	4本(土塀3本、櫓1本)

